

吉報 KIPPO

2

吉野町の「今」を発信



希望がひろがる、
吉野町が目指す
まちづくり

「ひと」がつながり
「ひと」が輝き
「ひと」が潤う
感動生まれる 吉野町

まちづくりの主役は「ひと」です。人と人がつながり、それぞれの色が輝くとき、そこには心が潤うような感動が生まれます。吉野町は、一人ひとりが主役となり、毎日の中にワクワクを感じられるような活気のあるまちづくりを目指しています。人口減少などの課題に向き合いながら、「安心」「活力」「魅力」「デジタル」の視点で未来を切り拓き、「ひと」の力が最大限に発揮される持続可能なまちをつくっていきます。

吉野町の「4つの重点プロジェクト」

1

安心な暮らしプロジェクト

ずっと住み続けたい、心安らぐ場所であるために

医療や防災、公共交通を整え、誰もが安心して暮らせるまちをつくります。結婚・出産・子育て世代が、未来に希望を持てる環境を整えます。

3

地域の魅力づくりプロジェクト

「行きたい」「住みたい」があふれる吉野へ

新しい人の流れをつくり、人が集い、関わりが広がる魅力的な地域を目指します。観光の磨き上げに加え、移住定住や関係人口の創出など、吉野町とつながる人口を増やしていきます。

2

地域経済活性化プロジェクト

まちに活力を。安定した雇用を生み出す

多様な連携や民間の力を活かし、地域経済を元気にし、安定した雇用を生み出します。地域の特色を活かした取組や産業振興を進め、「働く場」と「挑戦できる場」を増やしていきます。

4

デジタル利活用推進プロジェクト

デジタルで、暮らしをもっと便利で快適に

デジタルを活用して、より便利で快適な地域社会をつくります。行政サービスの改革を進めるとともに、地域で活躍できるデジタル人材の育成にも取り組みます。

人口減少・少子高齢社会に対応するため、今、吉野町が全力を注ぐ4つの挑戦です。



ふるさと納税のご支援
皆さまからの
温かい支援を、
吉野の未来へ。
ありがとうございます

吉野町では、吉野山の桜の保全をはじめ、教育・福祉・伝統産業の振興など、未来を見据えたまちづくりの取り組みにふるさと納税の寄附金を大切に活用しています。「ひと」が輝き、感動が生まれるまちへ。これからも、皆さまの想いを形にしていきたいと思います。これからも吉野町をよろしく願っています。

「ふるさと納税」を通じてお寄せいただいた寄附金の使い道

皆様からいただいた寄附金は、ご指定いただいたコースに沿って大切に活用しています。

1 町長お任せコース

町政全般における事業（空き家対策、交通、文化財修繕など）に幅広く活用します。

2 信仰の桜コース

世界遺産・吉野山の桜を未来へつなぐため、自然環境の保全・保護に活用します。

3 観光振興コース

吉野の魅力発信、観光イベントや環境整備、文化財保護などに活用します。

4 産業振興コース

吉野材（林業・製材業）のPR、農業支援、商業の活性化に活用します。

5 教育・子育て支援コース

給食費支援や通学助成、木育など、子どもたちの成長を支える取り組みに活用します。

6 福祉・地域医療支援コース

子ども医療費助成、地域医療・福祉体制の維持など、安心して暮らせる環境づくりに活用します。

7 自治協議会・自治会などへの支援コース

自治協議会・自治会など、地域主体の活動や課題解決の取り組みに活用します。

8 生涯スポーツ・育成支援コース

スポーツ環境の整備や普及を通じて、健康づくりと地域活性化に活用します。



「第5次吉野町総合計画」の詳細はこちらをご覧ください。



instagram



facebook

吉野町とつながりませんか？

吉野町の旬な観光情報やイベント情報、まちのちいさな出来事を SNS でお届けしています。ぜひフォローして、吉野町の「今」を感じてください。

西谷 ファームिंगチーム



プロフィール

西谷地区の農地利活用と景観保全を目的に活動する集落営農団体です。先人が守ってきた美しい農地風景を未来へ残すため、特産の西谷米の生産や、地域資源を活かした交流拠点づくりに取り組んでいます。



Q1 どのような経緯や思いから、この取り組みを始められましたか？

荒廃農地や耕作放棄地の拡大により、鳥獣被害や景観悪化に危機感を抱いたことが始まりです。西谷の美しい農地景観を保全し、ここで育つ美味しいお米を作り続けたいという思いで結成しました。

Q2 活動を通じて、吉野町をどのようなまちにしていきたいですか？

人口減少などで風景が変わる中、西谷には農地や都市部に近いという「地域の特性・個性・役割」があります。これらを活かして関係人口を増やし、地域外の人との交流が続く持続可能な地域づくりを目指しています。

Q3 やりがいを感じる瞬間や嬉しかったエピソードは何ですか？

田植や草刈りなどの耕作と景観保全の活動を早めに切り上げて、田んぼの畦道で開く交流会のひとときですね。自然、ゆったりとした時間の流れ、コミュニティの温かさ、子どもの生活環境への安心感など、西谷の魅力を感じてほしいです。

Q2 活動を通じて、吉野町をどのようなまちにしていきたいですか？

木を一過性の資源として消費するのではなく、持続的に活用できる社会をつくりたいです。森林に目を向ける人を増やし、自然と人の暮らしが共に豊かさを循環させる社会を「木のまち・吉野」から発信していきたいと考えています。

Q3 やりがいを感じる瞬間や嬉しかったエピソードは何ですか？

町内外、国内外から多様な人が関わり、関係が確実に広がっていくことを実感できることが嬉しいです。地域外の若者が主体となる「よしのウッドフェス」や、海外から多くの方が訪れる「吉野杉の家」など、活動の輪が広がるほど、吉野で働く、関わる価値も育っていくと感じています。

一般社団法人 吉野と暮らす会



生き生き町づくり 燦・産・参



Yoshino Village Network



Q2 活動を通じて、吉野町をどのようなまちにしていきたいですか？

私たちが目指すのは、「サステナブルな吉野町」です。「何かやりたい！」と思った時に実践できる場所があり、応援してくれる仲間がいる。さらに、やりたいことがビジネスになる。その仕組みづくりに挑戦しています。子どもたちが将来、吉野で挑戦したい！と戻ってきたくなるようなまちにしたいです。

Q3 やりがいを感じる瞬間や嬉しかったエピソードは何ですか？

今は草刈りや倒木の片付けなど肉体労働が中心ですが、地域の方から感謝されるのが一番のやりがいです。作業で困った時も、吉野の人たちは知識と経験が豊富で何でもできるので、「こうすればいいよ」とすぐに教えてくれたり手伝ってくれたりします。頼れる方々が身近にいる、とても恵まれた環境で活動しています。



Q1 どのような経緯や思いから、この取り組みを始められましたか？

「自分たちのやりたいことを形にしたい」と集まった仲間です。人口減少や高齢化で活動が少なくなっていた「みどりの村」をみんなで盛り上げようと、まずは竹林の整備から始めています。地域の思いを大切にして、また「子どもたちの遊び場づくり」に繋がっていく。そんな未来を描いています。

プロフィール

吉野町の東の玄関口「吉野見附三茶屋」にて、土・日・祝日に、地域住民が主体となりマルシェ「来い買い市」を運営しています。手作りのみたらし団子やたこ焼き、季節の野菜販売などを通じ、地域の賑わいづくりに貢献しています。



Q1 どのような経緯や思いから、この取り組みを始められましたか？

平成22年、まちの施設の活用と「賑わいづくり」を依頼されたのが始まりです。当初関わっていた他団体が撤退する中、地元を盛り上げたいというボランティア精神で踏ん張り、地道に活動を続けています。

Q2 活動を通じて、吉野町をどのようなまちにしていきたいですか？

立派な施設の飲食スペースが空いている現状です。再びテナントに入ってもらい、マルシェと人が行き交う循環を生み出したい。地域外からも人が立ち寄り、かつてのような賑わいある地域の玄関口にしたいですね。

Q3 やりがいを感じる瞬間や嬉しかったエピソードは何ですか？

「来い買い市」の活動を通じて、季節の野菜などを出荷してくれる生産者、お客さん、活動するメンバーの間で新しい出会いが生まれ、みんなが楽しく交流できる場になっていることがとても嬉しいです。ぜひ、一度、足を運んでください。



PÂTISSERIE LA CONVERSATION



プロフィール

フランスや東京などで20年にわたり製菓業界にて技術や経営を学んできました。「自然に囲まれた本格フランス菓子店」として、お菓子をを通じて笑顔や会話が生まれる、地域の人々の居場所づくりを目指しています。



Q1

どのような経緯や思いから、この取り組みを始められましたか？
当初は予定していませんでしたが、吉野のデザイナー・富松暖さんとの出会いを機に、「自然に囲まれた環境でフランス菓子店を営む」ことの価値に気付き、開業を決意しました。内装も地元の仕事の榎谷建築生活造形室さんに依頼し、「ALL吉野」でつくり上げたお店です。

Q2

活動を通じて、吉野町をどのようなまちにしていきたいですか？
フランスでの修行時代に、お菓子やカフェが日常の一部として人々の笑顔や会話を生み出していることに感銘を受けました。吉野でも、この店が人と人をつなげ、孤独を解消できるような場所になりたいです。自然豊かな吉野のよい場所にも、本格的なお菓子を作る場所があるというのをアピールし、多くの人に足を運んでもらいたいです。

Q3

やりがいを感じる瞬間や嬉しかったエピソードは何ですか？
お客様に「美味しい」「また来るわ」と言っていただけの瞬間が励みになります。店名「コンベルサシオン（会話）」の通り、自分が作ったお菓子がきっかけで会話が生まれ、笑顔が広がっていく様子を目にできることが、パティシエとしての最大のやりがいです。



MUJI room SAKAMOTOYA



Q1

どのような経緯や思いから、この取り組みを始められましたか？
良品計画として吉野町で活動を模索する中、坂本屋さんをご紹介いただきました。魅力的なお宿であり、良品計画初のモデルとして手探りながらも柔軟に協業していただき、今回の取り組みにつながりました。

Q2

活動を通じて、吉野町をどのようなまちにしていきたいですか？
地域の人から吉野町を好きでいられること、そして訪れた人が「また帰ってきたい」と思えるまちをつくりたいと考えています。観光客数を増やすこと自体を目的にせず、自然・歴史・文化を守りながら、暮らす人の生活が豊かになる取り組みを丁寧に積み重ねていきたいです。

Q3

やりがいを感じる瞬間や嬉しかったエピソードは何ですか？
お客様に「居心地がよかった」「また訪れたい」と言っていただけの瞬間です。特に、リピーターとして再びお宿に戻ってきてくださった時は、「この場所が誰かの帰ってきた場所になっている」と実感でき、大きなやりがいにつながっています。



Q1

どのような経緯や思いから、この取り組みを始められましたか？
都市部で庭やランドスケープの仕事が続ける中で、自然素材が持つ背景の大切さを実感するようになりました。2020年に古民家を、吉野杉・檜、漆喰、土壁などの自然素材を使って改修しました。吉野の「木・技・風土」を体感でき、地域の人も観光客も気軽に集える拠点をつくりたいという思いで始めました。



Q2

活動を通じて、吉野町をどのようなまちにしていきたいですか？
近年は、空き家増加や担い手不足などにより、吉野の長い歴史や文化が日常で感じにくくなっています。歴史ある街並みや建物を現代の暮らしに活かし、人が立ち寄り、滞在し、まちの時間を体感できる場所をつくることで、吉野の価値を次世代へつないでいきたいです。

Q3

やりがいを感じる瞬間や嬉しかったエピソードは何ですか？
改修中、ご近所の方から「灯りがともっているのが嬉しい」と声をかけていただいたことです。今ではまちの方から「おかえり」と言ってもらえることもあり、少しずつ故郷のような居場所ができてきたと感じます。町内外の方々の繋がりが生まれていく様子を見るのも嬉しいですね。

COYA



プロフィール

2026年2月に窪垣内地区にオープンした手しごとカフェです。主人がリフォームを手がけた木の温もりあふれる店内で、ミシンや編み物を通じて、誰もが気軽に「つくる楽しさ」を体験できるコミュニティづくりを進めています。



Q1

どのような経緯や思いから、この取り組みを始められましたか？
私自身、ソーイングカフェで働き「自分で服がつかれる」ことに感動しました。その楽しさを知ってもらい、一緒に楽しめるように、手しごとを「ちよつとやってみる」距離感でできる場所として、カフェの形を選びました。

Q2

活動を通じて、吉野町をどのようなまちにしていきたいですか？
吉野に住んでまだ一年ということもあり、大きなことを語れる立場ではありませんが、日常的に立ち寄れる場所が一つ増えることで、人が自然に集まったり、会話が生まれたりすると思っています。そのような小さな変化を無理のない形で積み重ねていきたいです。

Q3

やりがいを感じる瞬間や嬉しかったエピソードは何ですか？
リフォーム作業をしている時に、地域の方が声をかけてくれたり、興味を持ってくださったことが嬉しいです。そうした交流を通じて、少しずつ地域に溶け込んでいく感覚があり、それが今のやりがいにつながっています。

はのろいじゅ Hand Made Cafe



吉野の旅をもっと楽しく。

旅先（吉野町）でできる

現地決済型ふるさと納税

吉野町では、2025年10月1日より、現地決済型ふるさと納税を導入しました。スマートフォンひとつでその場で寄附。返礼品として「電子クーポン」を即時発行。すぐにお店のお支払いに使えます。ランチや宿泊、お土産代がお得になる新しい吉野の旅の楽しみ方です。



登録から利用まで、スマホ一つで簡単スタート。
3STEPですぐ使える！使い方ガイド

STEP 1 会員登録をする



登録用二次元コード

二次元コードを読み取り、専用サイトへ。「新規登録」から簡単な情報を入力します。（他地域で「ふるさと応援納税®」を利用済みの方はログインのみ）

STEP 2 寄附をする



使いたい金額を入力すると、必要な寄附額が自動で表示されます。表示された寄附金額を確認し、クレジットカードで決済します。（決済完了後、すぐに画面に電子クーポンが表示されます。）

STEP 3 電子クーポンを使う



お会計時、お店のレジにある二次元コードを読み取ります。「利用する金額」を入力して、店員さんに画面を見せるだけでお支払いに使えます。

「現地決済型ふるさと納税」ってなに？

従来のふるさと納税



家で寄附する



後日、返礼品が家に届く

吉野町の現地決済型ふるさと納税



旅先で寄附する



すぐにスマートフォンに電子クーポンが届いて、その場で使える！

旅先で寄附して、旅先で使える。吉野町とつながる、新しい応援のかたち。

※通常のふるさと納税と同じく、税金の控除対象になります。あなたの寄附が、吉野町の美しい景観や文化を守る力になります。

「電子クーポン」の3つの特徴

特徴 1

アプリ不要！スマートフォンで完結。アプリのインストールは不要。サイトにアクセスするだけで、登録から決済まで簡単に完了します。

特徴 2

現金いらす。1円単位で使える。電子クーポンは「1円単位」で使えるので、お買い物や飲食の端数のお支払いにも便利です。

特徴 3

有効期限は180日。次回の旅でも。当日使い切れなくても安心。発行から約半年間有効なので、次回の桜や紅葉の季節にも使えます。

クーポン概要・規定

名称：吉野町ふるさと応援納税® 電子クーポン

返礼率：寄附金額の30%

（例：10,000円の寄附で3,000円分のクーポン）

最低寄附額：5,000円から

有効期限：発行日から180日間

対象者：吉野町外にお住まいの方

利用可能店舗：吉野町内の「ふるさと応援納税®」加盟店

利用上の注意：総務省の地場産品基準に該当する商品またはサービスにのみ利用可能です。

地場産品基準に該当しない商品またはサービスには当クーポンは利用できません。

吉野の魅力たっぷり！
こんなお店で使えます。



吉野町内の加盟店で、旅の様々な場面にご利用いただけます。

食べる・買う



名物「柿の葉寿司」や吉野葛を使ったスイーツ、老舗酒造の地酒など。ランチやお土産選びに。

泊まる



絶景の露天風呂がある旅館や、自然を満喫できるゲストハウス、グランピング施設など。

体験する



吉野材を使った木工体験や、観光イベントなど、吉野ならではの体験にも。

※使えるお店は、町内各所に拡大中！
最新の加盟店情報は左の二次元コードからご確認ください。

よくあるご質問

Q 通常の「ふるさと納税」と同じように税金控除の対象になりますか？

A はい、対象になります。後日郵送される書類で「ワンストップ特例申請」または「確定申告」の手続きを行ってください。

Q 宿泊代金にも使えますか？

A 「現地決済」の場合のみ利用可能です。予約サイトなどで事前にクレジットカード決済（事前決済）がお済みの場合は利用できませんのでご注意ください。

Q クーポンは現金やカードと併用できますか？

A 可能です。クーポンは1円単位で使えるため、不足分を現金やカードで支払うことで無駄なく使い切ることができます。

Q 吉野町民も利用できますか？

A いいえ、利用できません。制度上、吉野町に住民票がある方は返礼品（電子クーポン）を受け取ることができません（寄附のみは可能です）。



控除上限額シミュレーション



現地決済型ふるさと納税サイト



加盟店一覧





吉野町 協働のまち推進課

〒639-3192 奈良県吉野郡吉野町大字上市 80 番地の 1

TEL : 0746-32-3081